

平成29年度 八条中学校学校運営方針

【学校教育目標】

「他者と共に自分の未来を切り開く生徒を育てる。」
～ 自主・自律・共生 ～

【目指す生徒像】

自分自身を大切にする生徒
仲間を大切にする生徒
仲間のために、仲間と共に行動できる生徒

【目指す教職員像】

学校教育目標の達成に向けて
「確かなビジョンを持ち、自己研鑽を続け、教育実践に誇りを持つ教職員」
「メンターを意識した教職員集団づくり」

【目指す学校像】

生徒・保護者・地域から信頼される学校
「八条中学校に通えて良かった」
「八条中学校に通わせて良かった」
「八条中学校で勤務できて良かった」

【重点的な取組】

「授業改善」「仲間づくり」

1. 学習活動の場面で

(1) すべての生徒が主体的に学ぶ授業の創造

「学びの共同体」のビジョンに基づき、その手法を借りて授業づくり、学校づくりに取り組む。

※授業改善 学びあう授業作り

※「校内授業研修の充実」と「校外研修会」への積極的な参加

(2) 「狭義の学力」へのこだわり

学習確認プログラムなどにおいて、本校の平均点の向上を図る

(3) 道徳の授業の充実

しなやかで豊かな心を育てる工夫をして取り組む

(4) 朝読書の実施

1日のスタートを落ち着いたものにする

2. 生徒指導の場面で

(1) すべての生徒にとっていごごちの良い学級集団を作る

生徒の自尊感情を高める

自己有用感を育てる（誰かの役に立っている）

互いに支え合い、成長し合える集団を作る

(2) 人・物・時を大切に

(3) 環境の整備

環境が、教育活動に与える影響は大きい。清掃指導の徹底と教職員が常に環境に対して気配りをする

(4) 部活動の活性化

活動停止日（原則水曜日）を設け、メリハリのある部活指導

達成感や満足感といった感動を集団で共有する

3. 小中連携

昨年度は、本校教員が小学校に出向き一日体験を実施した。小学校での指導や生活を知ること、は、連携の軸となる。小学校の研究授業、行事等にできる限り足を運べるよう取り組む。

(1) 三校連絡会の効果的な運用、学校間事務連携（ブロック会議の開催）

(2) オープンスクール

小学校6年生を、本校の教職員全員が観察するチャンス。

中学校の授業のスタイルを見てもらうチャンス。

(3) 夏季合同研修

4 特別支援教育の充実

平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行された。障害のある生徒の自律や生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行える体制を強化する。

また、教員の専門性を向上させる。

5. 地域を意識した取組

(1) ふれあい手作りカレンダー

文化祭での展示作品である「地域の貼り絵」をカレンダーにし、地域の高齢者（70才以上）に配布する。本校が永年取り組んでいる行事。

(目的) ○地域をあらためて知る。

原画の作成、貼り絵を作る、住んでいる町内のお年寄り（70歳以上）の在宅家庭を調べ、カレンダーを配ることを通して。

○「ありがとう」と言ってもらえる体験とする。

直接、間接的に地域の方からお礼の言葉をいただく。

(2) その他の取組

① 松尾祭への参加（神輿を担ぐ体験）

② 南区一斉清掃（部活ごとに参加）

- ③ 西寺育成苑まつり（準備や後片付けなどの生徒の手伝い・祭りへの参加・吹奏楽部の演奏など）
- ④ 認知症サポーター（2年生取組）
- ⑤ ふれあいトーク（1年生取組）
- ⑥ 吹奏楽部の地域活動・地域貢献
唐橋区民運動会、唐橋子ども祭り、唐橋防災の夕べ、南大内クリスマスコンサート等
- ⑦ 福祉体験（1年取組）